

# 伊那養護学校 高等部 キャリア教育

伊那養護学校 高等部 井坪賢児

## 1. はじめに

伊那養護学校高等部を卒業すると、多くの生徒が就労することになる。就労先は、福祉事業所や一般事業所がほとんどで、ごく稀に、専門学校等へ進学をする生徒もいる。社会に出て働くことになるため、高等部の3年間で働く力を磨いていくことになる。そのため、高等部の日課は月曜日から金曜日の午前中1時間半を作業学習に充て、個々の目標に向けた取り組みをしている。

就労先の決定については、年2回（6月、11月）の実習を通して適正を見ていく。定期的実習では十分に適性を見極めることができない場合には、不定期に特設で産業現場等における実習（実習）を行う生徒もいる。

現在、上伊那圏域において、多くの福祉就労施設で定員に空きのない状態である。そのため、卒業後の進路先の確保が急務の課題である。

## 2. 高等部作業学習について

伊那養護学校高等部には6種（陶芸、縫製、木工、農園芸、薪、手工芸）の作業班があり、屋内、屋外、立ち作業、座り作業、力仕事、細密作業など、本人の適性や希望、つけたい力を考慮し所属作業班を決めている。縦割りの集団で学習を行っており、10:30~12:00の1時間半を作業班ごとに途中休憩を挟みながら作業を進めている。基本的には、3年間で2つ以上の作業班を体験し、幅広い経験を積むようにする。

### 【陶芸班】

製品：茶碗、湯飲み、カップ、花瓶、皿  
作業：土づくり、型抜き、流し込み、磨き



### 【縫製班】

製品：巾着、エプロン、シュシュ、バッグ、織製品  
作業：ミシン、機織り、アイロンがけ



### 【木工班】

製品：ベンチ、角椅子、踏み台、パソコン棚  
作業：切断、穴あけ、組み立て、磨き、塗装



### 【農園芸班】

製品：大根、じゃがいも、さつまいも、大豆、長芋、ねぎ  
作業：耕作、マルチかけ、草取り、収穫



### 【薪班】

製品：キャンプ用薪、ストーブ用薪  
作業：薪割り、のこぎり、タガ詰め



### 【手工芸班】

製品：のし袋、コースター、籐かご、ストラップなど  
作業：紙すき、かご編み、ビーズ通しなど



年間を通して大きく3つの販売単元が設定されており、その販売に向けて製品を作っている。1回目の販売は「校内販売（7月）」で、参観日の際に学校内で保護者に向けて販売をしている。2回目の販売は「どんぐりまつり販売（10月）」で、文化祭に来校された保護者・地域の方に向けて販売を行っている。3回目の販売は「どんぐり販売（2月）」で、地域（駒ヶ根・伊那・箕輪）の大型スーパーに場所をお借りし、地域の方に向けた販売を行っている。回数を重ねるごとに、会場が校内から校外へ変わったり、お客さんが保護者から地域の方へと変わったり、場面設定の面においてハードルを上げることで、どの販売においても緊張感と期待感をもって取り組んでいる。

### 3. 産業現場等における実習（実習）について

実際の就労現場（福祉的就労、一般就労）において、1日を通して働く生活を体験する。多くの生徒は2週間の体験だが、生徒によっては3週間の実習を行う場合もある。

1学年の最初の実習（6月）は、学校内において外注の作業を引き受け1日通して働く体験をし、2回目（11月）から校外に出て実際の就労現場で実習を行う。一般就労の事業所での実習は、2学年の6月の実習から選択できる。実習先の決定は、本人の希望や特性、居住地等を考慮して、学校職員、保護者、本人と相談のうえ決定していく。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、6月の実習を実施することができなかった。また、11月の実習においても多くの一般企業で受け入れを中止していたり、コロナウイルス感染者の拡大の影響を受け途中で中止になったりした。

#### 【一般就労（ニシザワ双葉店）】



#### 【福祉的就労（さくらの家）】



#### 4. ライフ（生きる力をつけるための授業）

高等部では、毎週木曜日の午後の日課に「ライフ」の時間を設定している。ライフとは、生きていく際に必要な力をつけるための授業で、うがい・手洗いを学ぶ内容から性教育に関する内容まで、その学習内容は多岐にわたる。学年ごとに授業を行っており、学年内を3～4グループに分け生徒の実態に合わせたコース別の学習を行っている。

【例：2学年Bグループの計画】（今年度はコロナの影響により6月より実施）

時期	学習内容
6月	宿泊学習に向けた調べ学習及び係会
7月	夏休みに向けて（夏休みの過ごし方を考える）
8月	できることを増やそう （身だしなみ、衣類の管理、洗濯、干し方、アイロンがけ）
9月	買い物学習（品物を選ぶ、支払い、店員さんとのやりとり） 人間関係（友だちとの関わり）
10月	現場実習事前学習（あいさつ、報告）
11月	人間関係（異性との関わり）
12月	冬休みに向けて（冬休みの過ごし方）
1月	できることを増やそう（ゴミの分別など）
2月	性教育
3月	1年間のまとめ、3年生に向けて

【例：授業実践9月】

#### I 単元名「人間関係～友だちとの関り～」

#### II ねらい

学校が楽しいのはお友だちがいるから。

では、そのお友だちをどうやって作り、どうやって関わっていくのかを学ぶ。

#### III 展開

寸劇（浩志くんと美咲ちゃん）で悪い例を見て、どうしたらいいのかみんなで考える。

その後、浩志君と美咲ちゃんの適切な関り方を見て確認する。

進行（井坪） ※1つの項目5分程度（5分×8項目＝40分）

#### ①友だちをつくる（友だちのいない美咲ちゃんが、不安そうに廊下を歩いていると・・・）

悪い例 ・名乗らない

・いきなり強い力で振り向かせたり、乱暴な口調で話しかけたりする

良い例 ・優しく声をかけてから、自分から名乗って、丁寧な言葉で話をする

#### ②友だちと話をする（美咲ちゃんと友理香ちゃんが話しているところに・・・）

悪い例 ・他の友だちと話しをしているのに、強引に話に割り込む

・話している最中に、ちがうところを見たり、手悪さをしたり、  
相手が話している途中でどこかに行ってしまう。

良い例 ・声をかけ、相手が都合よくなるまで待つ

・相手の目のあたりを見て話す

・最後まで話を聞く。

③物を借りる（美咲ちゃんがマジックで絵を描いていると・・・）

悪い例 ・強引に取り上げる。本人に返さずに、使って置きっぱなし。

良い例 ・許可を得る。お礼を言う。使い終わったら、きちんと返す。

④一緒に遊ぶ（浩志君、美咲ちゃん、友理香ちゃん黒ひげで遊んでいて、知子ちゃんが仲間に入ろうとすると・・・）

悪い例 ・仲間外れにする。危ないことをする。悪口を言う。

良い例 ・快く仲間に入れる。安全に、みんなで仲良く遊ぶ。

⑤友だちががんばったら（美咲ちゃんがダンスの練習をがんばっていると・・・）

悪い例 ・からかう。邪魔する。

良い例 ・ほめる。拍手をする。

⑥友だちが失敗したり、困っていたりしたら（美咲ちゃんが陶芸班で、お皿づくりを失敗して困っていると・・・）

悪い例 ・バカにする。無視する。

良い例 ・声をかける。話を聞いてあげる。手伝ってあげる。

⑦うまくいかなかったり、好きなことができなくても

（お誕生日会に浩志君はお菓子を買に行きたい。美咲ちゃんはカラオケがしたい。すると・・・）

悪い例 ・怒り出す。人を叩いたり、物を投げたり、文句を言ったりする。

良い例 ・相談する。自分の気持ちを言葉で話す。時には譲ってあげることも。

⑧みんなで協力するときは

（浩志君、美咲ちゃん、知子ちゃんが学級展示の準備をしていると・・・）

悪い例 ・教室から出て行ってしまふ。自分勝手なことをやる。

良い例 ・自分ができそうなことをやる。先生に何をしたらいいか相談する。

#### IV まとめ

お友だちと楽しく過ごすには、自分だけじゃなくお友だちのことを考える。

お友だちは何がしたいか？

絶対に、蹴ったり、叩いたり、バカにしたり、仲間外れにしたりしない。

#### V 準備品：かつら、マジック、画用紙、黒ひげ危機一髪ゲーム

#### VI 生徒の反応

・「ちゃんと片づけなきゃダメでしょ！！」などと言いながら、寸劇にのめり込んでくれた。一方で、出演者に興味が向きすぎて指導内容の焦点がぼやけて伝わった生徒もいる。

・ことばや状況が理解できる生徒にはおもしろさや内容が伝わったが、ことばの理解が難しい生徒、他者の気持の理解が難しい生徒もいて、どのように学習を進めていくのかということは毎回のよりに課題として残る。

#### 5. 終わりに

このように、伊那養護学校高等部では卒業後社会に出ていくという環境的な要因と個人の特性から、長期にわたり、連続的に、卒業後に備えた学習を積み重ねている。1度学習した内容はもうそれで終わりではなく、複数年に渡り、何度も学習することもある。卒業後、学校ほど手厚い支援が受けられない状況を考えると、高等部3年間でどこまでの成長が望め、どこまでの力をつけて送り出してあげるのか、卒業後の彼らの生活をイメージしながら日々の学習支援を行っている。